



KoKoRoの窓

株式会社 KoKoRo 愛媛県新居浜市大生院438-3 TEL: 0897-47-5575 FAX: 47-5573

赤ちゃんになぜスマホがいけないの？

生まれたばかりの赤ちゃんを連れて
お店に来られる方もたくさんいます。

音の出る積み木を見て、手足を伸ばして反応したり、カラーボールが動くのをみて、体全身で、声を出して反応するのを見ると、つくづく玩具(童具)大切さを感じます。あるお母さんが、手人形で子どもに話しかけると、「ケタケタ」声を出して反応する赤ちゃんもいました。

3ヶ月頃から(個人差があります)色の区別(黄緑赤の区別)やゆっくりとした動き、そして、自分が触れてものが動くという感覚やものが隠れたり現れたりすることの感覚を身につけ、体も脳も大きく成長していきます。その成長には、見る、聞く、触るという感覚と親の働きかけ人との関わりが欠かせない要素です。

新生児は、まだ両目の協調性がない状態。顔の正面にあるものを見つめる凝視ができます。2カ月頃には、視力は、0.1以下ですが、人間の顔とそれ以外の物の形が区別できるようになります。物体が立体的に見えてきます。左右に動くものを目で追う追視ができます。

6カ月頃になると0.1の視力はあり、視野が広がり数メートル離れた物体が捉えられるようになります。まだ輪郭はうっすらしていますが、人の表情の違いが分かるようになります。

聴力や触覚は、胎児の時から備わっていますが、ただし、生まれたばかりの赤ちゃんの聴力は大人と比べると未熟で、「音」として認識し始めるのは生後3ヶ月頃だそうです。生後3ヶ月頃までは脳がきちんと音の情報を処理できず、突然の大きな音にモロー反射(大きな音に体をびくっとさせる原始反射)などにより反応するぐらいしかできません。しかし、生後3ヶ月を過ぎる頃から「音」を認識し始めると、親

の呼びかけに反応するようになります。

そうした赤ちゃんを取り巻く現代の環境は、決していいものとは言えません。TVやパソコンやスマートフォンの動画があり、赤ちゃんには刺激があまりにも強すぎるものが日常的にあるからです。ところが、ついつい、赤ちゃんが泣いているときに見せると泣き止むからとか、大人の都合でテレビやスマホを見せたりとしてしまいがちだと思います。また、子どもが反応することに喜んで、見せ続けることもあるかもしれません。

いずれにしても、幼児たちには、適切な刺激を与えることが大切です。強すぎる刺激を与え続けると赤ちゃんは、ストレスになり恐怖心を

持つようになると言われています。さらには、TV, スマホなどの動画は受動的ですので、他者との関わり合いができにくくなる要因になります。自分から触れて自分でものを動かす。お母さんが手で隠して、また見せる。シンプルですが、こうした積み重ねが子どもの成長に大切です。

7月のKoKoRoのイベント

7月30日(日) 10:00~11:30 絵画教室

テーマ: 等身大の自分を描こう!

場所: 銅夢にいほま 第2研修室

それぞれが好きなポーズで寝転がります。もう一人の人がその形をなぞっていきます。それに自由にペイントをしていきます。ご予約が必要です。

WAKU積み木ワークショップ!

150名が参加!

「いい遊び」は大人も子どもも楽しめる: 実感!

午前中と午後とに分かれて実施したWAKU積み木ワークショップは、多くの方々のご協力により、素晴らしいワークショップになりました。子ども達はもちろん大人の方達も次第に熱中し、楽しさを体感して頂けたと思います。いい遊びは、年齢を超えて楽しむ、心の肥やしとなることを実感した瞬間でもありました。

カメラ越しに見える生き生きとした表情がそれを証明していました。皆様からの反響や貴重な意見も頂きました。今後の参考にさせていただきます、より皆様に「楽しかった!」と思ってもらえるイベントを考えて参ります。どうぞご期待下さい。

メール: info@kokoronoasobi.co.jp

